

# 木更津市消防団だより

## 回覧

発行元  
木更津市消防団  
TEL 22-0119  
(消防総務課)  
2016年4月発行  
VOL.27



バック  
ナンバーへ



# 纏 まとめ

## 2016. 春号

### 団長就任挨拶



木更津市消防団

団長 地 曳 貞 夫

市民の皆様、関係機関の皆様には、平素から木更津市消防団の活動に対し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

私儀、この度、伝統ある木更津市消防団の第16代団長を拝命いたしました。

竹内前団長の2期4年間のご功績により、消防団はこれまでの偉大な歴史と伝統が受け継がれてまいりました。まさに、先人のご努力の上で、その高名な存在が保たれてきたわけでございます。

しかし、全国的に、少子高齢化や、住民ニーズの多様化、団員のサラリーマン化に伴い、残念ながら団員数の減少が進んでおりますのが現状です。

この現況を鑑み、消防団活動としましては、今まで以上に実践的な訓練と教養の習得

を重ね、従来にも増して地域に密着し、地域住民の皆様へ信頼していただける消防団を構築させ、団員の確保に努めてまいり所存でございます。

私も「この御指名にあたり、職責と使命の重さに身の引き締まる思いであります。」

市民の皆様、関係機関の皆様のお託しにお応えできまよう全力を尽くし、先輩方の流れを受け継ぎ、本市のまちづくりの安心・安全のため地域防災の貢献に努めてまいりますと考えておりますので、ご支援、ご協力をお願いします。

結びに、団員のご家族の皆様への消防団活動に対するご理解に、あらためて感謝申し上げますとともに関係各位のご健康とご多幸をご祈念いたしまして就任の挨拶とさせていただきます



### 消防団の現状と

### 設立の経緯

地域防災力の主たる役割を担ってきた消防団は、地域住民により構成された公共機関

として活動してきました。しかし、地域の都市化や住民層のサラリーマン化、核家族化により地域コミュニティの低下が指摘され、その影響により消防団員の確保が困難となつていきます。全国に3千を超える消防団は昭和27年の209万人をピークに、近年は団員の高齢化による退団と若い世代、新しい住民層からの入団者減少により、現在では89万人程度に低迷しています。

民を主体として主に啓蒙活動、火災出動、操法訓練や地域の行事への参加等の活動が中心でありました。

機能別消防団員制度は、より多くの団員の獲得を図るとともに、様々な職業上の技術をもつて消防団活動に貢献できる職種の新設により、既存の消防団制度をより臨機応変な対応力を付与する制度とする

機能別消防団は、従来の制度の中でも市町村独自の取り組みとして、音楽の演奏に特化した消防団員を採用する音楽分団及びラップ分団、さらにバイク隊や女性隊（女性分団並びに女性部）など団員の個人が有する技能を重視した組織編制を行う事例が見られ、こうした実績を挙げていく中で総務省消防庁がより団員の有する事情に配慮するとともに団員の個性や技能を活かした消防団制度への変革を期して、機能別消防団員制度を発足させたものであります。

この中で地域の環境変化に対応することが期待されています。

女性分団を4月1日より発足し、女性特有の優しさ、きめ細かさを活かし、防火防災啓発活動、応急手当普及啓発活動、消防団行事の参加、災害時後方支援活動などをして参ります。

### 機能別消防団員

### 制度の特徴

これまでの消防団は地域住



### 木更津市も 機能別女性分団発足

# 第38回 早出し放水 競技大会

11月8日(日) 旧木更津市役所駐車場で早出し放水競技大会が雨の中開催されました。

同大会はポンプ車の部11個部、小型ポンプの部27個部が、吸水から放水までの技術を競いました。



## 大会の結果

### 《ポンプ車の部》

- ▽優 勝 4分団3部(久津間)
- ▽準優勝 1分団1部(中央)
- ▽第三位 2分団1部(桜井)

### 《小型ポンプの部》

- ▽優 勝 7分団3部(牛袋野)
- ▽準優勝 2分団4部(下鳥保)
- ▽第三位 8分団1部(真重・大稲)
- ▽第四位 4分団2部(江川)
- ▽第五位 4分団7部(岩郷・高砂)
- ▽第六位 3分団4部(大成笹子)

## 優勝チーム紹介

### 《ポンプ車の部》

4分団3部(久津間)

- ▽指揮者 時田 裕介
- ▽一番員 江尻 友也
- ▽二番員 岩崎 弘樹
- ▽三番員 鳥我龍太郎
- ▽四番員 近藤 祐基
- 部長のコメント 三浦 慶祐

今年度、早出し大会出場して、とても良い結果が残せて良かったと思います。

私達、久津間消防団の優勝は平成元年以来と、部内大変喜んでおります。

来年も良い成績が残せるように頑張つて行きたいと思えます。

今後も宜しくお願い致します。



### 《小型ポンプの部》

7分団3部(井尻・菅根牛袋野)

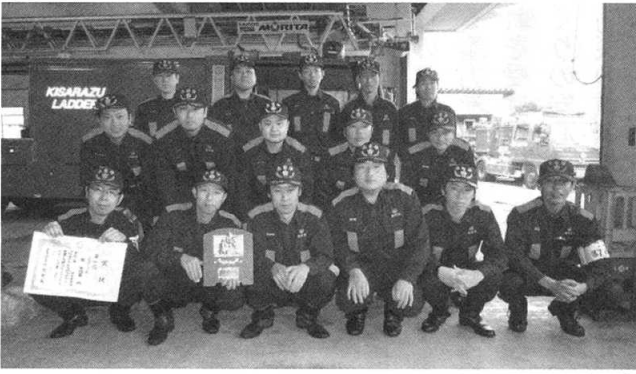
- ▽指揮者 佐久間智良
- ▽一番員 鳥海 裕信
- ▽二番員 渡邊 将裕
- ▽三番員 西川 隆弘
- 部長のコメント 鈴木 秀之

練習期間中は選手、指導員、OBの皆様忙しい中、集まってもらい感謝しています。

特に選手は疲労が抜け切れないまま練習を最後まで頑張ってくれました。

また自分のくじ運が悪く1番目に演技の中、最高のパフォーマンスを発揮してくれて嬉しく思います。

最高の思い出ができました。



## 平成28年 出初式

木更津市消防出初式が、11月17日(日)午前10時から旧木更津市役所駐車場で行われました。

6434人が犠牲となった阪神・淡路大震災から21年となるこの日、消防団員は、新たな気持ちで、地域防災を担う役割の重要性を再認識しました。



式典に続き消防署と消防団の連携訓練が実施され、倒壊家屋からの救助訓練や、一斉放水訓練が披露され、迅速で的確な動作を見ることができました。訓練会場の上空では、千葉市と川崎市の2機の消防ヘリコプターも参加し、空中消火訓練が披露され、非常に見応えのある内容となりました。



消防広場は今年から規模を拡大し、煙体験ハウス、はしご車体験、消防お絵かきコーナーに加え、多数の屋台がならび、お子様連れでも楽しめるように内容を充実しました。

当日は、きさポン、チーバくんをはじめ、近隣のマスコットキャラクター達も応援にかけつけ、来場者を楽しませてくれました。

そして最後には、災害ゼロを祈願して、来場者の手により、風船を飛ばし締めくくりました。





# 第5回 緊急消防援助隊 全国合同訓練

平成27年11月13日(金)、14日(土)の2日間、総務省消防庁主催の緊急消防援助隊全国合同訓練が市原市菊岡(メイン総合訓練会場)他17会場で行われ、木更津市消防団から22名の団員が参加しました。

全国合同訓練は、全国の緊急消防援助隊が5年に1度一同に会して、消火・救助活動等の訓練を実施するもので、今回が5回目の開催であり千葉県では初の開催となりました。



測し市街地火災、コンビナート火災、津波浸水など複合的な災害が広範囲に発生したとの想定で、実施者に事前に訓練の進行やシナリオを与えず、想定のみを与える実践さながらのブライント型で行われました。

木更津市消防団は同市消防本部指揮の下、自衛隊と連携し瓦礫・土砂災害事故救助訓練を実施しました。



なお、全ての都道府県から約600隊(約2200人)の緊急消防援助隊が参加。また、警察・自衛隊・海上保安庁・DMAT等の実働機関約200名が参加し、過去最大規模の訓練になりました。

## 緊急消防援助隊とは

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、平成7年6月に創設され、大



規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するためのものです。

木更津市消防本部も緊急消防援助隊に登録しており、東日本大震災や、昨年発生した関東・東北豪雨により、甚大な水災被害を受けた常総市にも出動いたしました。

## 歳末特別警戒

市民の皆様にご安全で明るい新年を迎えて頂くため、本年も12月28日から31日までの4日間歳末特別警戒を行います。夜間には消防車両による警戒も行いました。

## 春季消防演習

この演習は、激増かつ多様化する災害に対処するため、木更津市消防団地震災害対応マニュアルに基づき、消防団員の参集及び情報・指揮伝達訓練を実施するものです。

【訓練想定：2月21日(日)午前8時55分、千葉県東方沖を震源域とする直下型大地震及び、旧木更津市役所庁舎で大規模災害が発生】



渡辺市長統監のもと、全消防団車両が旧市役所周辺に集結し、海水と消火栓を利用した4系統の放水中継体制を構築し、災害発生想定の新市役所駐車場に一齐放水を実施しました。



## 平成27年火災件数

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物	2	3	2	4			2		5	3	3		24
林野													0
車両	1	3		1			1		2	1		2	11
その他	1		1						1				3
合計	4	6	3	5	0	0	3	0	8	4	3	2	38

## 平成28年度 年間行事予定

- 4月 辞令交付式
- 4月 女性分団発足式
- 5月 全団員研修会
- 5月 県消防学校入校研修
- 6月 第53回木更津市消防操法大会
- 7月 第37回君津支部消防操法大会 富津市
- 8月 第69回木更津港まつり花火大会警備
- 11月 第39回早出し放水競技大会
- 11月 木更津市総合防災訓練
- 11月 消防団員指導員研修
- 12月 歳末特別警戒
- 1月 木更津市消防出初式
- 2月 春季消防演習



# 山に入る 時の心得

暖かい陽気になり、山菜採りや管理で山に入ることがあるかと思えます。山に入る時注意していただきたい事があります。

## 1. 山火事に注意

山に限った事ではありませんが、タバコのポイ捨てやゴミ燃しの火が広がってしまった為に火事になってしまったケースがあります。「タバコの火だから」、「熾火おきびだから」といつて安易にその場を離れないようにしましょう。

## 2. 遭難事故に注意

山に入る場合、遭難事故にも注意しなければなりません。慣れない山で道に迷って帰れなくなる遭難の他に、ケガで動けなくなつて帰れなくなる遭難もあります。そんな遭難事故を防ぐ為、次の事に注意してください。

### ① 入山前

● 山に入る前に家族に行き先や帰宅時間、行動予定を必ず伝えるようにしてください。何かあった時、家族に伝えているかどうかで対応に差が出てきます。

● 慣れた山でも油断は禁物です。山は天候によつてまったく違う姿になります。天気予報に注意して悪天候での入山は絶対にやめましょう。

● 万が一遭難してしまった時の為にこれだけは持ってくださいましよう。

- ・非常食(飴玉、チョコレート等)
- ・携帯電話や笛、発炎筒など(人に現在地を知らせる事ができます)
- ・防寒具(寒さ対策になります)
- ・他にも携帯ラジオ、ケガをしたときの薬、持病の薬も持つていくといざという時に安心です。

### ② 入山してから

● 入山するときは気象情報をよく確かめて天候の急変が予想される時は早めに下山するなど、天気には十分注意してください。

● 自分の体力や体調に合わせて無理せずに行動してください。

● どんなに珍しい山菜等を見つけても崖や急斜面などは避けるようにしてください。

### ③ 万が一迷ったら

● 携帯電話が使える場所であれば、まずは遭難した事を伝え、救助を要請しましょう。

● 歩き回らず、大木の陰や岩陰で風を防ぎ、防寒対策をして救助隊の助けを待ちましょう。特に日没後は歩き回らないでください。

● 笛を持つているのであれば、笛を鳴らして周りに居場所を知らせましょう。



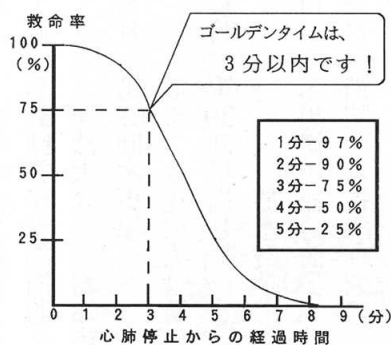
# 使えますか? AED

最近、市役所や公民館、映画館やショッピングセンターなどで、AED(自動体外式除細動器)と書かれた機器を見かけることはありませんか。AEDとは心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動など)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

AEDは初めての人でも簡単に使えるように設計されています。機種によつて多少の違いはありますが、フタを開ける、あるいはボタンを押すと電源が入り、あとは音声で操作方法を案内してくれます。

心肺停止から3分を境に大きく救命率は低下します。平成26年中の救急車による現場到着所要時間は、木更津市平均で約8.5分となります。別図を見ていただくと分ると思いますが、救急車の到着を待つ

ていては、人の命を救えませんか。



ついさっきまで元気にしてきた人が、目の前で倒れてしまったら、このような時、人の命を救い、社会復帰に導くためには、そばに居合わせた一人一人が救命処置を行えるように、心配蘇生法やAEDの使用方法を身につけておくことが大切です。

木更津市消防団では、定期的に応急手当講習を受講し団員が心肺蘇生法やAEDの使用方法を身に付けています。木更津市消防本部では市内在勤・在住の方を対象に応急手当講習会を実施しています。